

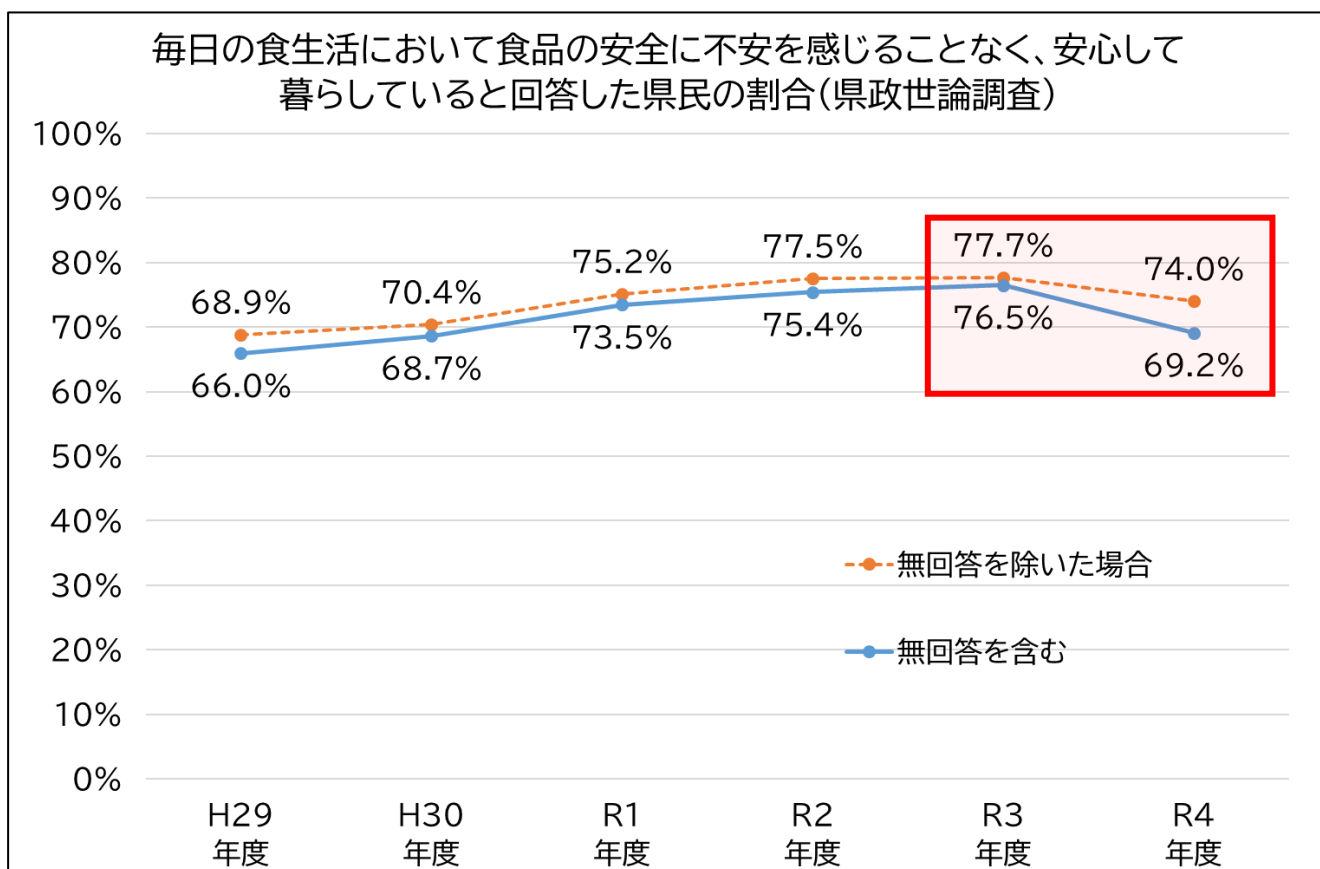
【資料 1-1】

ふくしま食の安全・安心対策プログラム_令和4年度実績_総合指標及び成果目標

1 総合指標

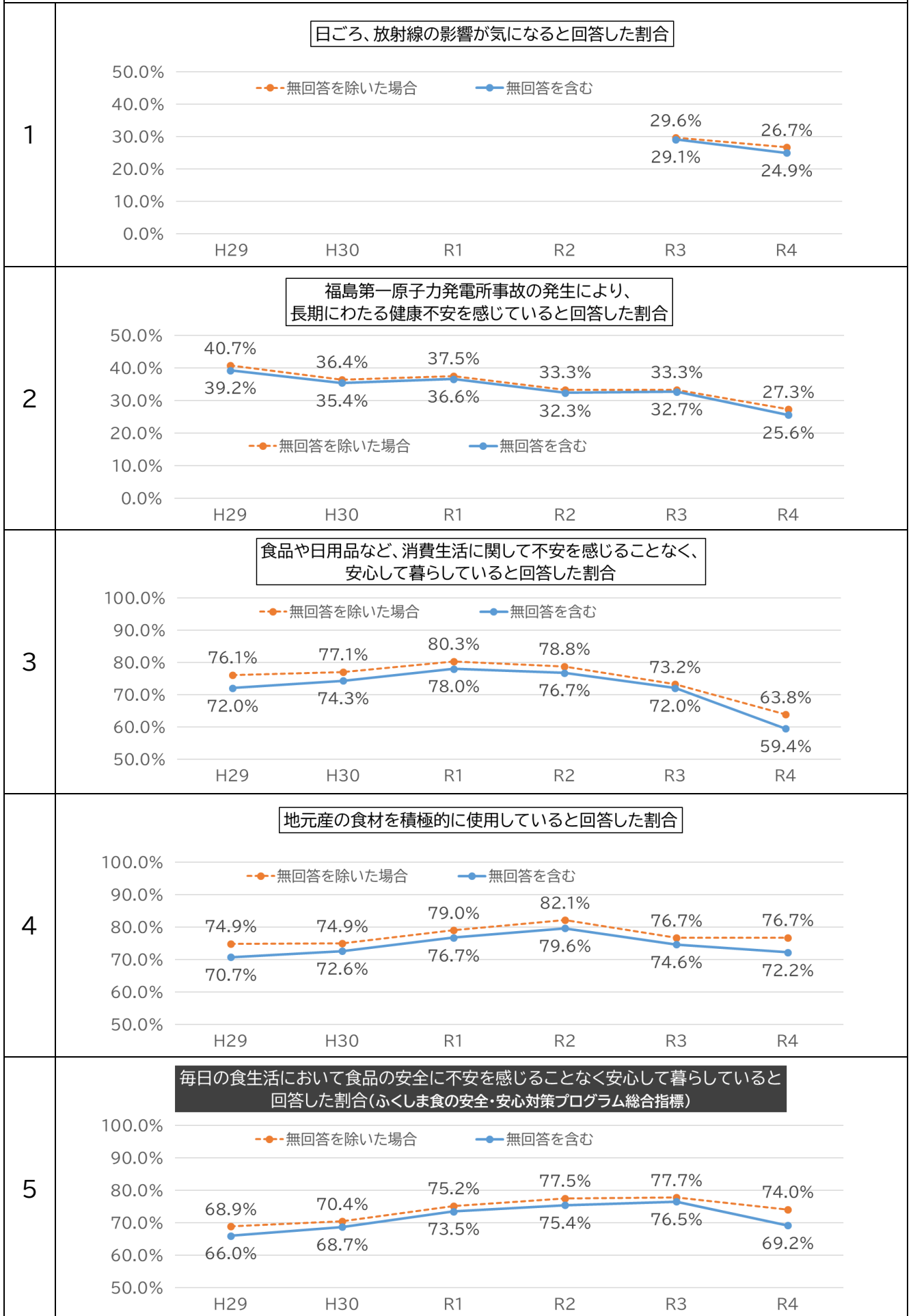
総合指標	基準値 (R2 年度実績)	R4年度 実績	中間目標値 (R7 年度)	目標値 (R12 年度)
毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく、安心して暮らしていると回答した県民の割合(県政世論調査)	75.4%	69.2%*	前年度比で 上昇を目指す	前年度比で 上昇を目指す

※ 令和4年度の総合指標の実績値は、基準値よりも減少している。



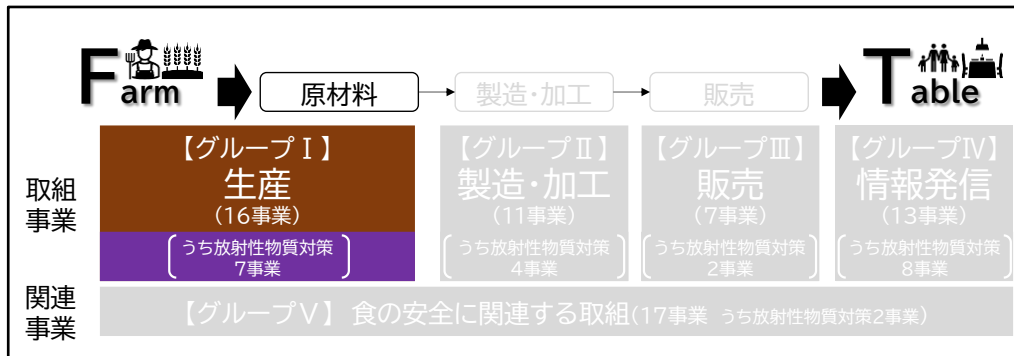
- これまでは増加傾向を示していたが、令和4年度は前年度と比較して 7.3 ポイント(76.5%→69.2%)減少している(青色の折れ線グラフ)。
 - 令和4年度は例年と比較して「無回答」の割合が増加[※]していたことから(令和3年度比+5.1 ポイント)、無回答を除いた値(オレンジ色の折れ線グラフ)と比較したが、令和4年度は令和3年度と比較して 3.7 ポイント(77.7%→74.0%)減少していた。
- ※ 令和4年度県政世論調査「安全で安心な県づくり」に関する他の調査項目(全14項目)でも「無回答」が多くなっている(6.3%~7.1%)。

(参考)総合指標に関連する県政世論調査の調査項目の年次推移



2 成果指標

(1)グループⅠ；生産

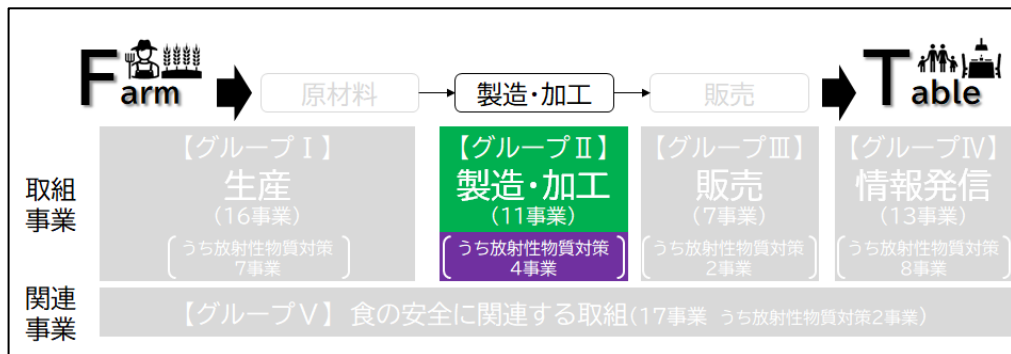


成果指標	基準値 (R2 年度実績)	R4年度 実績	評価	中間目標値 (R7 年度)	目標値 (R12 年度)
第三者認証 GAP 等を取得した 経営体数	680 経営体	738 経営体	B	1,240 経営体	1,800 経営体
毒化貝類の出荷件数	0 件	0 件	A	0 件	0 件
食品安全対策事業における 違反検体数	0 件	2 件	C*	0 件	0 件

※ 野菜果物等の残留農薬や食品の抗生物質等の検査を86件実施した結果、2件の基準値超過を確認。

(①県外産ホタテガイの麻痺性貝毒、②県内産白菜の残留農薬)。

(2)グループⅡ；製造・加工

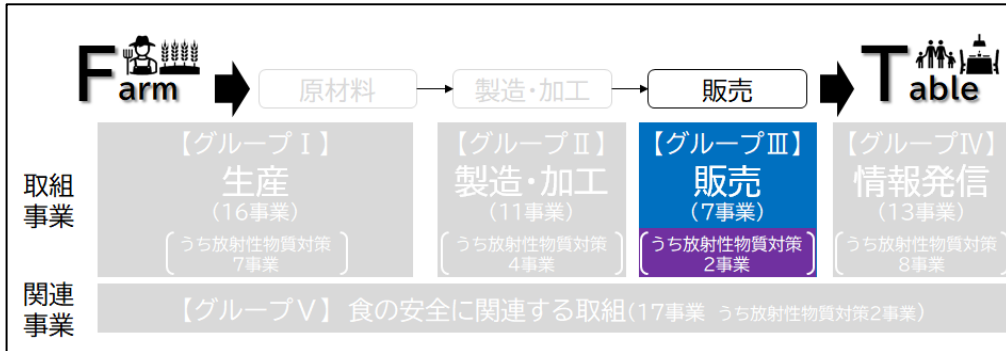


成果指標	基準値 (R2 年度実績)	R4年度 実績	評価	中間目標値 (R7 年度)	目標値 (R12 年度)
ふくしま HACCP の導入状況	24.3%	35.2%	B	62.2%	100%
食品事業者を対象とした講習会 の実施回数	156 件	163 件	B	178 件	200 件
食品営業施設・給食施設等での 食中毒患者数	70 名	349 名	C* ¹	減少を 目指す	減少を 目指す
食品製造施設に起因する 不良食品発生件数	24 件	36 件	C* ²	減少を 目指す	減少を 目指す
水道水・飲用井戸水における放射性 物質の管理目標値を超過した件数	0 件	0 件	A	0 件	0 件

※1 患者数100名を超えるノロウイルス食中毒が2件発生した。また、5件のカンピロバクター食中毒が発生。

※2 約8割が食品表示に関する不良食品であり、事業者の食品表示に関する認識及び確認不足が原因。

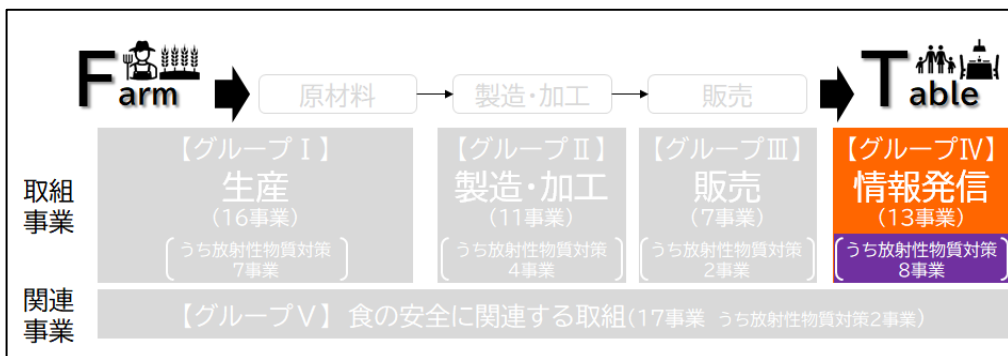
(3)グループⅢ；販売



成果指標	基準値 (R2 年度実績)	R4年度 実績	評価	中間目標値 (R7 年度)	目標値 (R12 年度)
食品表示法に基づく生鮮食品の適正表示率	88.8%	89.1%	B	100%	100%
食品表示法違反による健康被害の発生件数	0件	0件	A	0件	0件
食品の流通販売施設に起因する不良食品発生件数	10件	22件	C*	減少を目指す	減少を目指す
食品衛生法における放射性物質の基準値を超過して出荷、流通販売された食品の件数	2件	0件	A	0件	0件

※ 約7割が食品表示に関する不良食品であり、事業者の食品表示に関する認識及び確認不足が原因。

(4)グループⅣ；情報発信



成果指標	基準値 (R2 年度実績)	R4年度 実績	評価	中間目標値 (R7 年度)	目標値 (R12 年度)
食と放射能に関するリスクコミュニケーションの実施件数	45件	67回	A	60件	60件
消費者対象の食品衛生講習会の実施回数	12回	18回	A	上昇を目指す	上昇を目指す

3 全事業の進捗状況

	A 評価 (計画どおり進行)	B 評価 (概ね計画どおり進行)	C 評価 (計画どおり進行していない)	D 評価 (その他)
生産	12	3	1	0
製造・加工	7	3	1	0
販売	5	1	1	0
情報発信	11	1	0	1
計	35	8	3	1

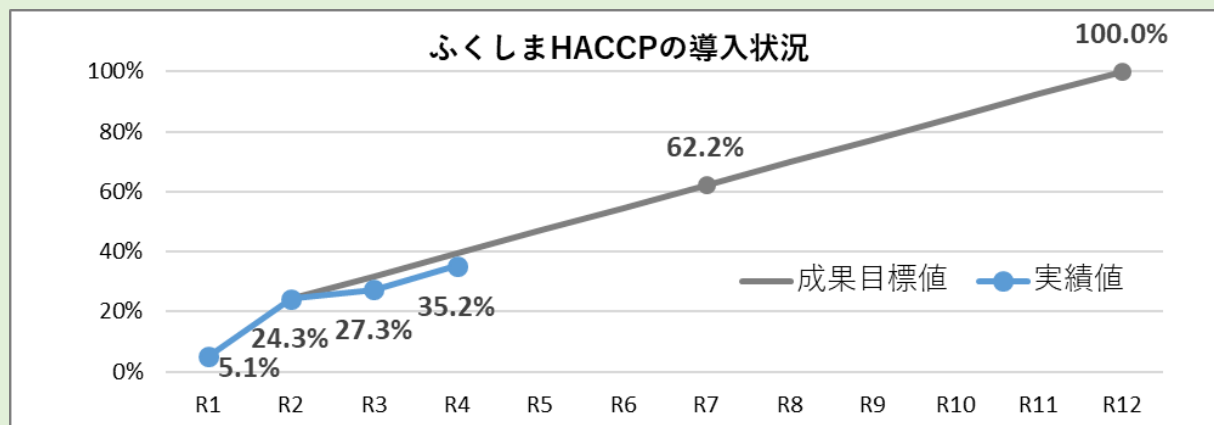
- グループⅠ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳに該当する47事業中43事業(91%)が、「計画どおり進行(A評価)」又は「概ね計画どおり進行(B評価)」しており、適切な進行管理が行われていた。
- 一方で、3事業が「計画どおり進行していない(C評価)」の評価となっており、いずれもR2年度実績よりも不良食品等の発生件数が増加したことが原因であった。
- また、1事業が「その他(D評価)」の評価となっており、新型コロナウイルス感染症の影響により対面式での市民向け講演や意見交換が実施できなかったことが原因であった。

【ふくしまHACCPの導入推進事業(グループⅡ;製造・加工)の進捗状況について】

[事業概要]

食品衛生法の改正により制度化されたHACCPに放射性物質対策を組み合わせた県独自の衛生管理手法「ふくしまHACCP」の導入を推進し、県産加工食品の安全及び信頼の確保を図ります。

[数値目標]



[令和5年度の事業計画]

- ・ 保健所単位での小規模(10~20名程度)な導入支援研修会を計画的に実施
- ・ 食品生活衛生課が主体となって、食品関連団体と連携した中規模(30~50名程度)な導入支援研修会を開催
- ・ 教育庁と連携し、県立農業高校の生徒を対象とした衛生管理計画作成の実習を含む講習会を開催

4 事業の変更及び廃止

(1)事業内容の見直しに伴う変更 1件【いわき市】（令和4年度から既に変更済み）

①	変更前	変更後
事業名	食の子ども探険隊 (一日食品衛生監視員体験)	こども食の安全教室
事業内容	小学校を対象に、一日食品衛生監視員としてスーパーマーケットでの食品の取扱いや、食品を扱う人がどのような視点で食品を提供しているのかという点を確認してもらいながら、食品衛生に関する知識や食品に対する関心を高めてもらうことを目的としています。	普段は立ち入ることができない大型小売店(スーパーマーケット)のバックヤード(調理場)における衛生管理への取り組みを、映像を通じ確認してもらうとともに、正しい手洗い方法を身に付けてもらうために手洗い体験実習を行うことにより、自主的に食の安全・安心の確保に取り組む姿勢を育むことを目的として実施します。
進行管理	【数値目標】 年1回実施	【数値目標以外】 実施希望数などにより総合的に評価

(2)事業名の変更 1件【食品生活衛生課】

①	変更前	変更後
事業名	放射性物質検査結果の分析事業	食品中の放射性物質に関する情報発信事業
進行管理	【数値目標以外】 統計解析結果や成果品である動画・リーフレットなどを総合的に評価	【数値目標以外】 消費者向けイベント及びリスクコミュニケーションの開催実績等を総合的に評価

(3)事業の見直しに伴う廃止 1件【いわき市】

ア 事業名 食の安全フォーラム

イ 廃止の理由 随時開催する各種講習会等と整理統合したため。